

やまのかたりべ

第72章 棒ノ折山・岩茸石山・高水山

いよいよ8月11日は山の日(祝日)となった。今年の山の日前後は天気も安定しており、登山日和が連日続き、山も大変賑わった。しかしながらお盆が過ぎると台風がいくつも発生し、関東地方も傘マークがつく日が数日続く。

8月21日(土)

お盆明け何度か登山の計画をするが、天気が悪く延期し続けていた。今日も大気の状態は安定せず、明日も関東地方は傘マークがついている。明日行かないと次に予定が空くのが9月になってしまう。とりあえず明朝6時前に起床し、晴れていたら出発しようと決め、山の準備は何もせず就寝。

8月22日(日) 5時50分

カーテンの向こうには明るい光!「晴れてるよっ!」思わず夫がビックリする程の大きな独り言を発する。そうとなれば急いで身支度をする。雨具、着替えをザックに放り入れ、ザックカバーもつける。登る山は決めている。奥秩父の棒ノ折山。しかし電車、バスの時刻をメモっていないためPCを立ち上げ急いで調べる。てんやわんやの旅立ちだ。

6時50分 自宅を出発

駅に向かう途中のコンビニで朝食昼食、行動食を購入。

7時22分 武蔵小金井駅を出発

思いの外ザックを背負った人の数は少ない車内。国分寺駅で西武国分寺線に乗換え、その後も西部新宿線、西部池袋線に乗換え、飯能駅に向かう。

8時14分 飯能駅に到着

バスにて登山口となる「さわらびの湯」バス停まで目指す。北口側、正面にロータリー向かって右手にバス停がある。登山者らしき人は私ひとり。

8時30分 飯能駅発、さわらびの湯経由名郷行きバス出発

乗車したバスの内外装にアニメのキャラクターが描かれている。何だろう…と車内に書かれた説明を読む。なるほど~納得。「ヤマノススメ」という飯能を舞台にした漫画のキャラクター達と判明。時よりアニメのキャラクターが注意事項などをアナウンスする。好きな人には嬉しいサービスだろう…。私も機会があったら読んでみよう。



(さわらびの湯バス停近くの施設・駐車場)

<ポイント1>

漫画:ヤマノススメ 「月刊コミック アース・スター」で連載中の“ゆるふわアウトドア”コミック。飯能市を舞台にしている。アニメ制作へ向け、スタッフは綿密なロケーション・ハンティングを実施。劇中には、あおいとひなたと一緒にハイキングを楽しむ「天覧山」や学校帰りに立ち寄る「飯能銀座商店街」そして「飯能河原」などおなじみのスポットが多数登場。飯能市の風景が物語を盛り上げる。

TV放送第2期放送決定(飯能市にホームページより)
詳細は飯能市サイト:
<http://www.city.hanno.saitama.jp/> 参照

9時11分 「さわらびの湯」バス停に到着

数人が乗車していたが、降りたのは自分ひとり。道の駅のようなちょっとした建物と公衆トイレが併設。温泉施設「さわらびの湯」は、登山を楽しんだ後利用される方も多そうだ。

警備の方に話しかけると「今日は登山者少ないね～。10人ぐらいの団体さんが登りにきていたぐらいだよ。道路沿いに歩いていくとすぐにダムがあるから登山口はそこからすぐだよ。気を付けて行ってらっしゃい。」

<ポイント2>

天然温泉「さわらびの湯」毎月第一水曜定休日(祝祭日を除く)

8月26日情報: 毎回、ご好評をいただいている「大工の棟梁による手づくり家具展示販売」の展示販売期間を9月末まで延長します。随時商品を追加してありますが、手づくりの一点物のため早い者勝ちです。(さわらびの湯ホームページより)詳細はさわらびの湯サイト:<http://sawarabino-yu.jp/> 参照

9時21分 道路に沿って坂道を登ること数分、有馬ダムに到着。

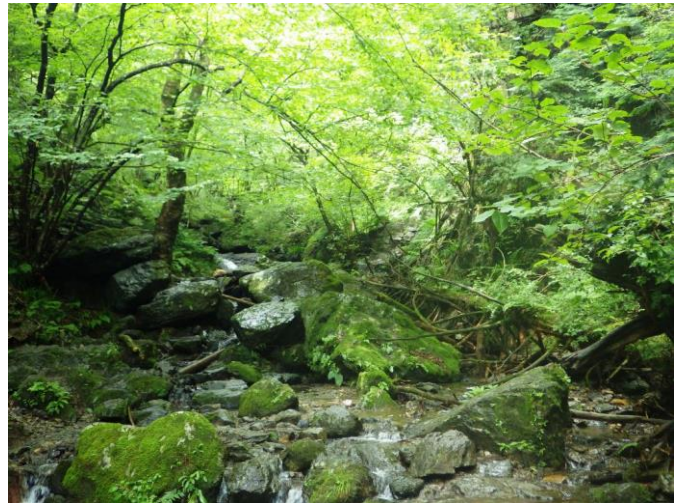
道路から外れ左手に曲がり、右手にダムを見ながら歩く。ここはライダーの方々の休憩スポットらしく、多くのバイクが停まっている。ゲートを越えると白谷橋に到着、登山口となる。駐車スペースがあり、数台が停車している。登山届はここで提出する。

9時30分 登山口を出発

登山口から一気に森の中へ入る。クマ出没の看板があるので、E0Jのクマ鈴を鳴らしながらの登山。沢と並行した明るい森の歩行のため、せせらぎに癒されながら登れるのがまた気持ちが良い。前日も雨が降ったので沢の水量も増えているようだ。



(有間ダムと山々)



(藤懸ノ滝過ぎた後)

9時50分 一つめのポイント藤懸ノ滝(ふじかけのたき)に到着

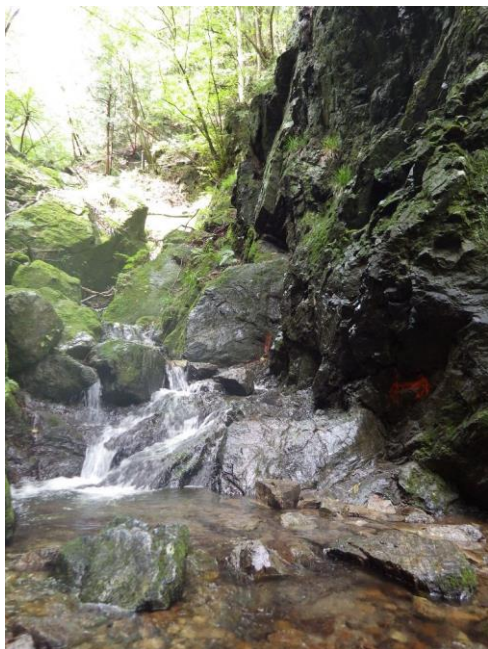
迫力ある大きな岩の間を通り、沢伝いを登る。足元は結構滑るので注意が必要。石畳の階段や鎖場も何か所か出てくる。間違えて進んでしまいそうな箇所が複数あるが、こまめにテープや道標があるので滅多な事が無い限り道に迷う事は無い。

10時05分 白孔雀ノ滝に到着

孔雀が羽を広げているような滝。その後木道の階段を通過するが、崩れている個所がかなりある。段差も結構高いので意識して足を上げないと躓いてしまう。

10時15分

一度アスファルトの道を横切る。再び森の中へ。前方に10人ぐらいの団体を発見。楽しそうな声が聞こえる。急登にさしかかり、団体に追いつくと道を譲ってくださる。年齢も40~65歳ぐらいであろうか??共通の趣味を楽しめる仲間がいると言うのはとても幸せな事だな~と思いながら、お礼を述べて先に進む。



(白孔雀ノ滝までの道中何度か沢を渡り返す、鎖場もある。)

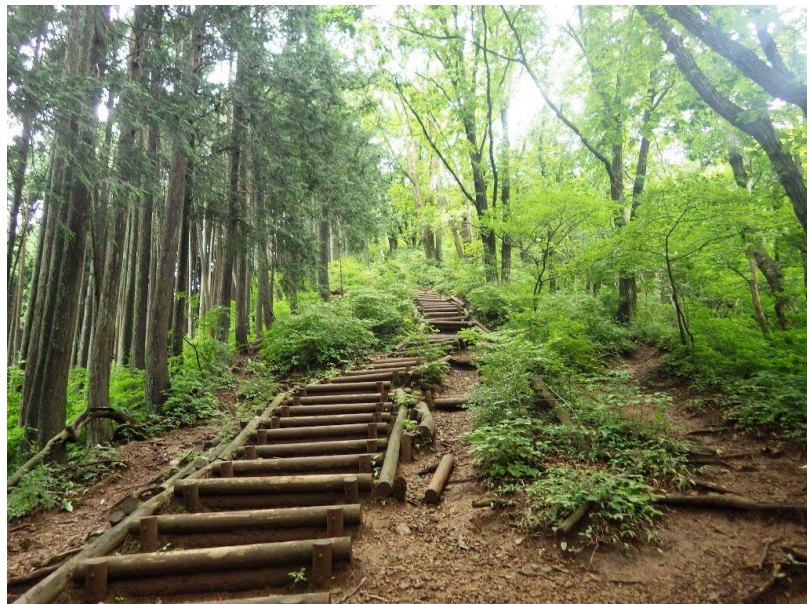
急登を過ぎるとなだらかな道になる。風が正面から吹いて来て気持ちが良い。



(↑二つめのポイントとなる岩茸石)

(権次入峠に向かう途中
の長い木道の階段→)

10時25分 二つめのポイント滝ノ平尾根と大名栗林道との分岐点となる岩茸石に到着
大きな石が出現。さらに登りは続く。途中ベンチやテーブルなどが設置された休憩場所がある。その先はごろごろとした石が出てきたかと思うと、木の根の合間を歩く場面もある。木道の階段を登りつめると権次入峠に到着する。



10時45分 権次入峠に到着

なだらかな登山道を進むと正面に「左に巻いて歩くように」と標識が出てくる。どうやら多くの登山者が通った結果、土が浸食してしまったため、通行禁止にして迂回する登山道をつくったようだ。植生が復元するには時間がかかるであろう。

10時55分 棒ノ折山(標高969m)山頂に到着

山頂は広い空間に東屋やベンチが設置されている。5、6人の登山者が既に山頂で早いお昼を楽しんでいる。自分もベンチに腰をかけ谷川岳の方を見ながらお昼休憩にする。山頂到着時、既にどんよりした雲が遠くの山々の上にかかっていたが、あっという間に山を覆ってしまい何も見えない状態となる。



(棒ノ折山山頂)

天気は下り坂か…。残念である。おにぎり一つと水分補給。雨対策にザックの中を整理整頓し雨具を上の方に入れ替える。

<ポイント3>

棒ノ折山(標高 969m)

標高 1,000mに満たないので、冬期でも積雪は少なく、軽アイゼンで登れる。夏も樹林帯と沢沿いの道が多いので、暑さも苦にはならない。山頂の展望は奥武蔵の山々から、東京、埼玉の街並み、筑波山、日光連山、赤城山、谷川岳と見わたす事が可能。(ヤマケイアルペンガイド 4 奥多摩・奥秩父 参照)

下山は奥多摩の方に抜けようと考えていた。天気が下り坂ならと早々に山頂を後にする。

11時10分 山頂出発

権次入峠まで戻る。権次入峠から先ほど来た白谷沢を左に見ながら右手のコース黒山を目指す。アップダウンを繰り返す、誰にもすれ違わずとなく途中何度かクモの巣に襲われながら最後の急登を登る。

11時30分 黒山(標高842m)山頂に到着

ベンチがあり二つのグループが休憩している。こちらのコースは静かでお勧めである。するとこれから向かう高水三山の一つ、岩茸石山方面の空が明るい。群馬側の方が天気が悪いのかもしれない…雨に濡れる事はなさそうだ。

ここから岩茸石山までも誰ひとり会わず。クモの巣が容赦なく顔に襲ってくる。登山道は数箇所草でボウボウになっているが、分かれ道には道標もあり安心して歩ける。気を付けるのは、熊とイノシシ。アップダウンを繰り返す登山道だが季節を選べばアセビやスミレの群落も楽しめるコース。

12時40分 岩茸石山(標高793m)山頂に到着

何度か登った山ではあるが、違うコースからくると新鮮。山頂はこれまた登山者が少なく、3グループで独占。私も端の方で休憩する。ここからは高水山を経由し、軍畑駅に下山する。この季節あまり来た事が無かったので、緑を楽しみながら下山。いつもとは逆走しての登山だったので、初めての山のように最後まで楽しめた。



(岩茸石山山頂)

14時15分 軍畑駅に到着

炭酸ドリンクを購入し乾いた喉を潤す。美味しい!!! 電車がくるまでのんびりホームで待つ。今度は寒い季節、雪が降ったら軽アイゼンを持って登りに行こう!!!

8月21日(日)

- 9時30分 白谷橋登山口発
- 10時05分 白孔雀ノ滝着
- 10時55分 棒ノ折山着
- 11時30分 黒山山頂着
- 12時40分 岩茸石山着
- 13時10分 高水山着
- 14時15分 軍畑駅着

文責:松田留美
単独行